

8型 取扱説明書

HTMH21

お願い

1. 取付をされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様・御入居様または管理者様へお渡し下さい。
2. 御施主様・御入居様・管理者様へ
当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
商品を正しくご使用いただくために、この「8型取扱説明書」をよくお読み下さい。いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

国土交通大臣認定取得
CAS-0321 (旧CAS-0037・0041)

当社は旧CAS-0037・0041を新たにCAS-0321として認定取得しました。

■防火設備 危害防止装置の義務づけ
建築基準法施行令 第112条 関係の改正により、新たに防火ドアの開鎖または作動時の安全性確認が義務づけられました。

改正の概要 (平成17年12月1日 国土交通省告示 第1392号)

- ① 開鎖作動時の運動エネルギー $((1/2)MV^2)$ が 10J 以下であること。
M: 防火設備の質量 (Kg)
V: 防火設備の開鎖作動時の速度 (m/s)
- ② 当該防火設備の質量が 15kg 以下であること。また、質量が 15kg を越えるものにあては、水平方向に開鎖するもので閉じ力が 150N 以下であること、もしくは周囲の人と接触した場合に 5cm 以内で停止すること。



新たに義務づけられる安全性
 ● 運動エネルギーが 10J 以下であること。
 ● 閉じ力が 150N 以下であること。

1. 8型の機能説明とお願い

- 1) この商品は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。
- 2) ドアが閉鎖する床面には物を置かないで下さい。
- 3) 8型は分解、改造しないで下さい。

2. お手入れ方法

ドアが閉鎖する床面はチリ、ごみ等がない様にして下さい。

3. 異常を感じられた際の対処方法 (下記の対処方法を行っても不具合がある場合は、施工業者または当社にお問い合わせ下さい)

下記の部品名称については巻末ページでご確認下さい

現 象	考えられる原因	点検箇所	対 処 方 法
ドアが戸袋から全く動かない場合	スモクローザが作動していない	電気仕様の確認	スモクローザ (D-24-1A型)仕様を確認 (詳細は 頁5参照)
	駆動装置がハンガーに接続されていない	点検口内	駆動装置のワイヤーをハンガーに引掛ける
ドアが完全に閉まらない場合	下部シリコンゴムが床の異物に接触している	床 面	異物を除去する
	下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている		ドアの下部シリコンゴムを調整する (詳細は 頁2-A参照)
	(引分けのみ) ラックが制動装置の歯車に対して平行になっていない	点検口内	ラック間座(厚さ1t)を使用して平行にする (詳細は 頁2-B参照)
	(引分けのみ) ローラーがラックの背中を圧迫しすぎている		ローラーの圧迫を緩める (詳細は 頁2-C参照)
	(片引きのみ) 制動が効き過ぎている		制動ラック板の位置を調整する (詳細は 頁3-D参照)
	(片引きのみ) 上部シリコンゴムの押えが強い		遮煙板ローラーの高さを調整する (詳細は 頁3-E参照)
ドアが閉鎖状態で上部シリコンゴム部に隙間がある場合	ドアと枠の歪み又は取付位置が合っていない	点検口内	ドア上面及び開口上枠の高さと隙間の調整をする (詳細は 頁3-F参照)
	ハンガーライナーがハンガーより枠側にはみ出ている		遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする (詳細は 頁4-G参照)
	(引分けのみ) ローラー転がりの確認		はみ出さないように取付ける (詳細は 頁4-J参照)
	(片引きのみ) ローラーが高い位置に取付けてある		鉄板の傾斜に接触しない様にする (詳細は 頁4-H参照)
ドアが閉鎖状態で下部シリコンゴム部に隙間がある場合	上部シリコンゴム部の調整により隙間がでる	床 面	遮煙板ローラーの高さを調整する (詳細は 頁3-E参照)
			ドアの下部シリコンゴムを調整する (詳細は 頁4-K参照)
電気系統をリセットしたのにドアが戸袋に納まらない	スモクローザがリセットされていない	点検口内	スモクローザをリセットする (詳細は 頁5参照)

調整方法

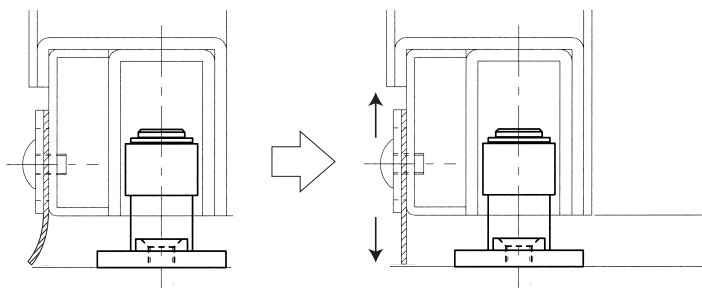
《お願い》 本機は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。
本機の性能を十分発揮させるために取付調整を行って下さい。

〔ドアが閉鎖途中で止まる場合〕

A. ドア下部シリコンゴムの出を調整する。

引分け

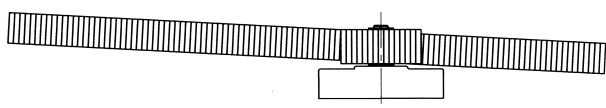
片引き



● ドア下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている場合は調整して下さい。

B. 制動ラックのドア見込み方向の位置調整をする。

引分け



制動ラックを制動装置の歯車に対して平行にしないと回転抵抗が大きくなります。ドアが閉鎖途中で止まる場合、その状態で制動ラックを前後に押してみてもドアが動き出すようであれば、その方向に矯正するために、間座を挟んでネジ止めして下さい。

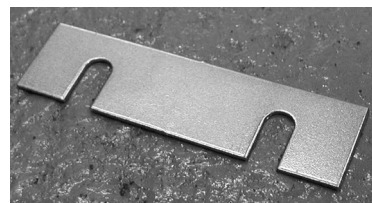
ラック間座をはさむときはネジをM5×20なべ小ネジに交換して下さい。



ドアを閉じるときに制動ラック先端が反対側のドアのハンガーにぶつかる場合も右記方法で矯正して下さい。



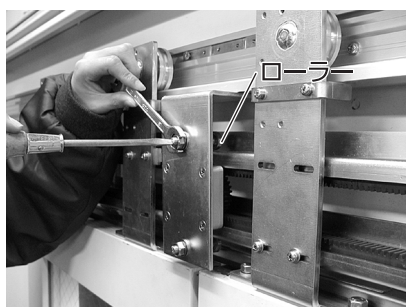
h. M5×20なべ小ネジ
(ラック間座を使用時に、このネジに交換する。)



ラック間座 (厚さ1t)

C. 制動装置の上下ローラーを調整する。

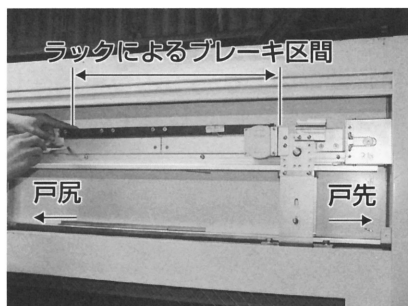
引分け ローラーが制動ラックの背中を圧迫しすぎているとドアが閉鎖途中で止まる場合があります。そのような場合は固定し直して調整して下さい。



(注意)
ある程度の押さえは作動上必要です。
ゆるめ過ぎるとラックと歯車が滑る
恐れがあります。

D. 制動ラック板の位置を調整する。(本図は左引き)

片引き



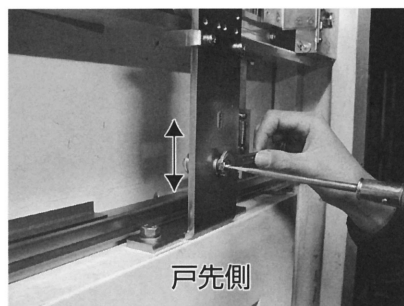
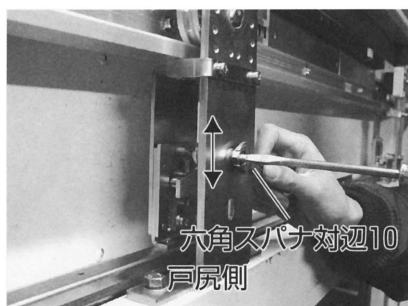
- ドアが閉まり際で止まってしまう場合は閉まり際でブレーキがなくなるように、制動ラック板を戸尻方向へ適度に移動させて下さい。
(閉まる勢いを利用できるようになります。)

(注意)

制動ラック板を位置決めするときは、制動ラック板を上から押さえつけながらネジ止めして下さい。

E. 遮煙板ローラーの高さを調整する。(本図は左引き)

片引き



遮煙板ローラーの高さでドア閉鎖時の上部シリコンゴムの密着具合を調整できます。

- ドアが閉じきらない場合
→ 遮煙板ローラーを少し上目に取付けてみる。
- ドア閉鎖時に上部シリコンゴムで密着しきれずに隙間ができる。
→ 遮煙板ローラーを少し下目に取付けてみる。

[ドアが閉鎖状態で上部・下部シリコンゴム部に隙間がある場合]

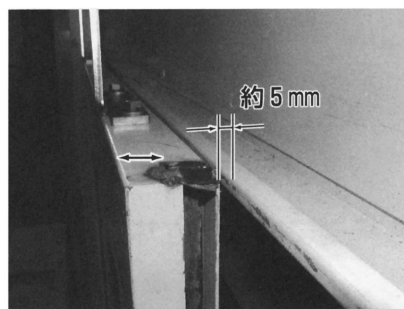
F. ドア上面と開口上枠の高さと隙間の調整をする。

引分け

片引き



● 高さの確認



● 隙間の確認

- ドア閉鎖時に上部シリコンゴム部が密着するように高さで隙間の確認をして下さい。



ハンガーライナー

- 高さ合わせはハンガーライナーを増減させて調整して下さい。
- 隙間調整はボルトをゆるめてドアを前後に移動させ、調整後固定して下さい。

G. 遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする。(本図は片引きの左引き)

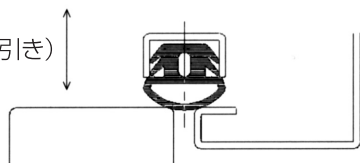
引分け ドア閉鎖時の上部シリコンゴム部が密着するように調整して下さい。

片引き

①ドア見込み方向



②高さ(片引き)



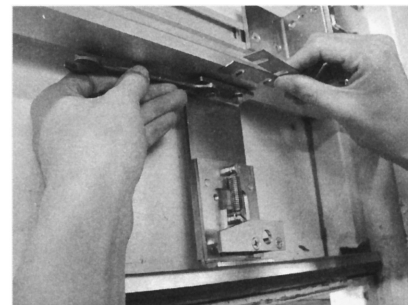
①ドア見込み方向はゴムの中心と隙間の中心が合うように調整します。

ボルトをゆるめて前後に移動させ、調整後固定して下さい。

②高さはライナーの増減で調整して下さい。



六角スパナ
対辺8



戸尻側

戸先側

H. ローラーを転がり確認する。

引分け ドアを閉じた状態でローラーが鉄板の傾斜に乗り上げていると上部シリコンゴムが最後まで落ちきらずに密閉できません。左右ドアを閉じた状態でローラーを指で回して、鉄板の傾斜に接触していないかを確認して下さい。

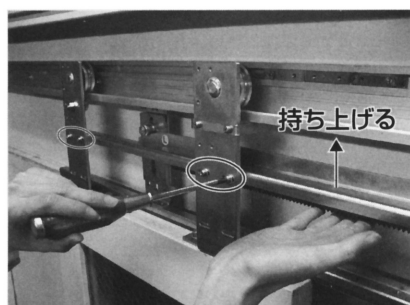


左側



右側

接触しているときは図のネジをゆるめてローラーが接触しない位置に制動ラックをスライドさせて下さい。
固定するときは水平よりやや上に持ち上げながらネジ止めして下さい。



左側



右側

I. 遮煙板ローラーの高さを調整する。(Eと同じ調整方法)

片引き

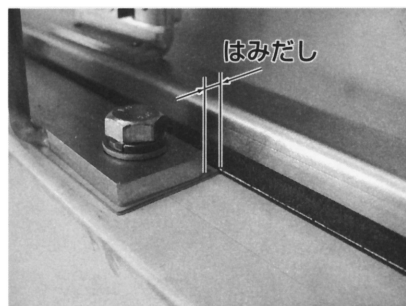
J. ハンガーライナーがハンガーより枠側にはみ出さないように調整する。

引分け

片引き



○ 良い例



× 悪い例

ハンガーライナーが枠側にはみ出ていると遮煙ゴムで密閉するときに段差による隙間ができるため、はみ出さないように取付けて下さい。

K. ドアの下部シリコンゴム部を調整する。(Aと同じ調整方法)

スモクローザ(D-24-1A型)のリセット方法

※スモクローザのストッパーを復帰させ、再びドアを開放保持させたいときは以下のリセット方法を行って下さい。
スモクローザのリセット方法は全て片引きの右引きで説明します。引分けも同じ要領となりますので省略します。

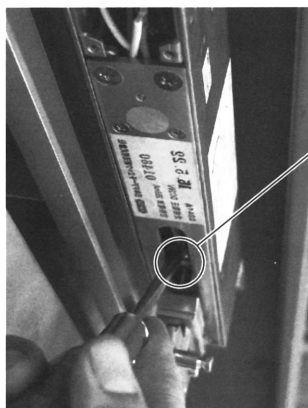
〔スモクローザの下に手が入る場合〕

●点検口を開ける場合

- ①電装システムをリセットし点検口を開ける
- ②ドアを開放保持位置まで開く。



- ③スモクローザをリセットする。



復帰板

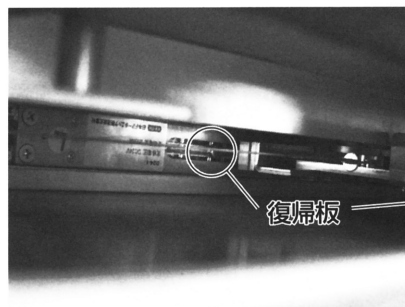
- 丸印の復帰板を棒（例えばドライバー）又は指で上へ押すとローラーが出る。ドアが開放保持していることを確認し、点検口を閉めてリセット終了。

●点検口を開けない場合

- ①電装システムをリセットし、ドアを開放保持位置まで開きそのままの状態を保持をする。



- ②直径10mm×1m程度の丸棒(別途)にてスモクローザの復帰板を押すと復帰します。



復帰板



直径10mm×1mの丸棒(別途)

(点検口の中が暗い場合は懐中電灯で中を照らして作業を行って下さい。)

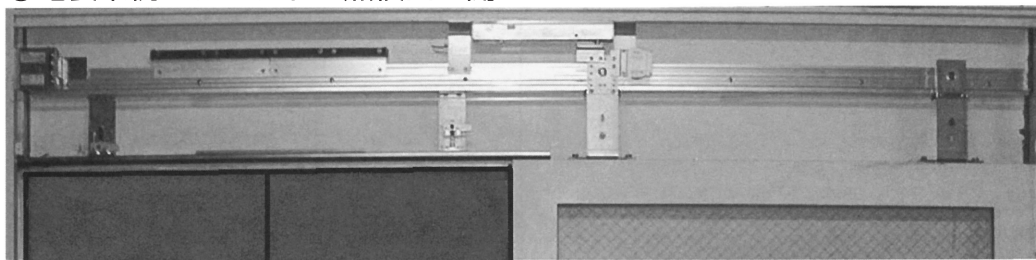
○スモクローザ(8型)仕様

型 式	D-24-1A型
防災評定番号	BCJ-DCS(S-T)-16
動作形態	非常時通電型
定格電圧	DC24V
定格電流	266mA
使用電圧範囲	DC19.2V～DC28.8V
ドア保持力	78.4N
通電時間	100msec
使用温度範囲	-10℃～+50℃
接点容量 ランプ負荷	2A
外部配線	3線式(順次送り可能)
リード線	600V2種ビニール絶縁電線 赤・白・黄 各1本
ボックス仕上	4ヶ所打抜穴 有色クロメートメッキ仕上
復元方式	手動復帰
重 量	1.5kg(ボックス含)
回 路	

〔スモクローザの下に手が入らない場合〕

● 枠端まで点検口が開く場合

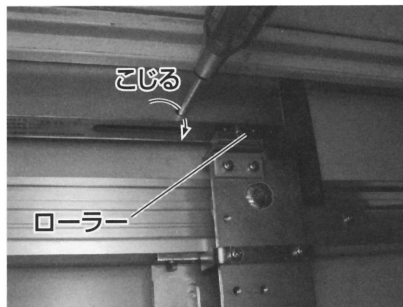
①電装系統をリセットし点検口を開ける



②ドアを開放保持位置まで開く。



③スモクローザをリセットする。



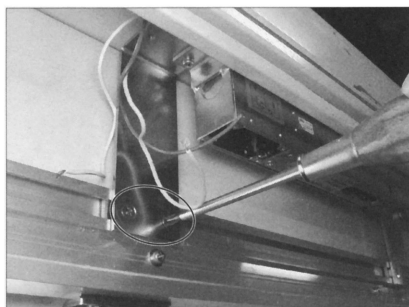
● 穴にドライバーを差し込み、下にこじるとローラーが出る。ドアが開放保持していることを確認し、点検口を閉めてリセット終了。

● 方立までしか点検口が開かない場合

①電装系をリセットし、点検口を開け○印に止めてあるネジを確認する。



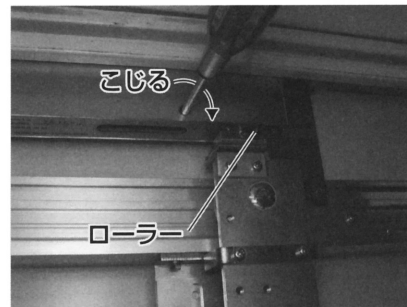
②2個のネジをゆるめる。



③スモクローザを引き出す。



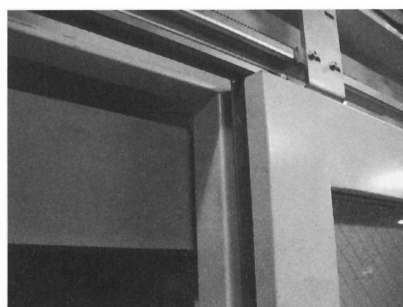
④スモクローザをリセットする。



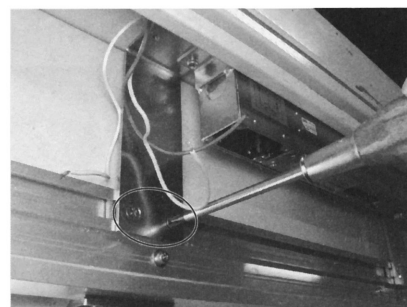
⑤スモクローザを押す。



⑥ドアごと戸袋内に送り込む。



⑦2個のネジを締める。



● 戸先側ハンガーに付いてある受金具にローラーを引っ掛け、スモクローザを押す。

● 戸先ゴムの先端が開口に達するまで送り込む。

● ドアの開口位置を決定。点検口を閉めてリセット終了。

8型商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼下さい。

保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1）（注2）から2年間（電装部品は1年間）。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

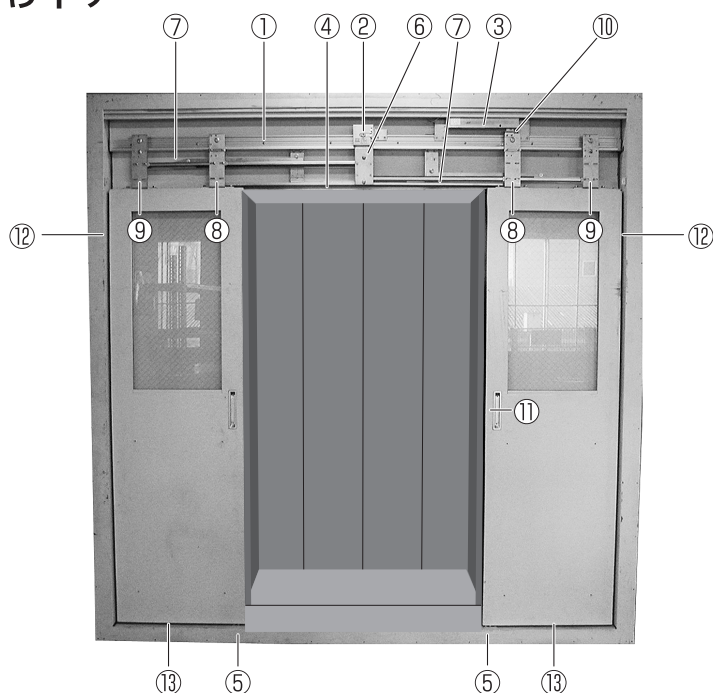
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。

- ① 施工の不備に起因する不具合
- ② 商品の性能または適用範囲（ドアの重量、サイズなど）を超えたドアの使用または超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ③ 建築躯体の変形などに起因する不具合
- ④ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑤ 商品または部品の経年変化（使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など）や経年劣化（使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など）またはこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
- ⑥ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下など）に起因する不具合
- ⑧ 引き渡し後のドアの操作誤り、8型の調整不備による不具合
- ⑨ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑩ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

* 保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

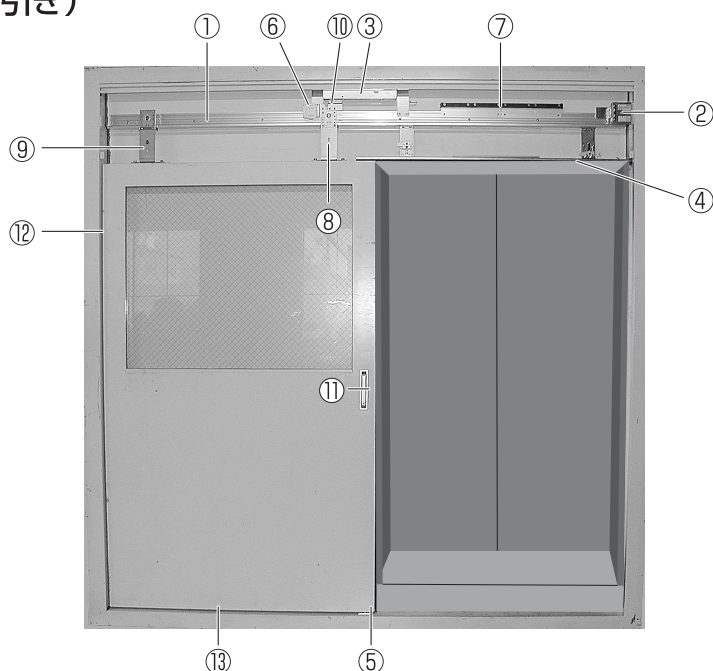
■連動引分けドア



部品名称

- ①レール
- ②駆動装置
- ③スモクローザ (D-24-1A型)
- ④上部シリコンゴム及び遮煙金具
- ⑤ガイドローラー
- ⑥制動装置
- ⑦制動ラック板
- ⑧戸先側ハンガー (R・L)
- ⑨戸尻側ハンガー (R・L)
- ⑩受金具
- ⑪戸先シリコンゴム
- ⑫戸尻シリコンゴム
- ⑬下部シリコンゴム

■片引きドア (本図は左引き)



この説明書に掲載されている内容は、予告無く変更することがあります。

NEW★STAR 日本ドアーチエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL (03) 3871-1411 (代)
(ニュースター東京ビル)

大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL (06) 6758-1251 (代)

札幌支店 / TEL (011) 851-8255~6

名古屋支店 / TEL (052) 981-7531~2

仙台営業所 / TEL (022) 284-7501

広島営業所 / TEL (082) 877-1611~2

北陸支店 / TEL (076) 243-2120 (代)

福岡支店 / TEL (092) 271-5491 (代)

静岡営業所 / TEL (054) 238-2751

高松営業所 / TEL (087) 843-1212~3